

座標空間において、立方体 OABC–DEFG の頂点を

$$O(0, 0, 0), A(3, 0, 0), B(3, 3, 0), C(0, 3, 0), \\ D(0, 0, 3), E(3, 0, 3), F(3, 3, 3), G(0, 3, 3)$$

とし、OD を 2 : 1 に内分する点を K、OA を 1 : 2 に内分する点を L とする。BF 上の点 M、FG 上の点 N および K、L の 4 点は同一平面上にあり、四角形 KLMN は平行四辺形であるとする。

(1) 四角形 KLMN の面積をもとめよう。ベクトル \overrightarrow{LK} を成分で表わすと

$$\overrightarrow{LK} = (\boxed{\text{アイ}}, \boxed{\text{ウ}}, \boxed{\text{エ}})$$

となり、四角形 KLMN が平行四辺形であることより、 $\overrightarrow{LK} = \boxed{\text{オ}}$ である。

$\boxed{\text{オ}}$ にあてはまるものを、次の①～③のうちから一つ選べ。

① \overrightarrow{ML} ② \overrightarrow{LM} ③ \overrightarrow{NM} ④ \overrightarrow{MN}

ここで、 $M(3, 3, s)$ 、 $N(t, 3, 3)$ と表わすと、 $\overrightarrow{LK} = \boxed{\text{オ}}$ であるので、 $s =$

$\boxed{\text{カ}}$ 、 $t = \boxed{\text{キ}}$ となり、N は FG を 1 : $\boxed{\text{ク}}$ に内分することが分かる。

また、 \overrightarrow{LK} と \overrightarrow{LM} について

$$\overrightarrow{LK} \cdot \overrightarrow{LM} = \boxed{\text{ケ}}, |\overrightarrow{LK}| = \sqrt{\boxed{\text{コ}}}, |\overrightarrow{LM}| = \sqrt{\boxed{\text{サシ}}}$$

となるので、四角形 KLMN の面積は $\sqrt{\boxed{\text{スセ}}}$ である。 [次のページに続く]

(2) 四角形 KLMN を含む平面を α とし、点 O を通り平面 α と垂直に交わる直線を ℓ 、 α と ℓ の交点を P とする。 $|\vec{OP}|$ と三角錐 OLMN の体積を求めよう。

$P(p, q, r)$ とおくと、 \vec{OP} は \vec{LK} および \vec{LM} と垂直であるから、 $\vec{OP} \cdot \vec{LK} = \vec{OP} \cdot \vec{LM} =$

$\boxed{\text{ソ}}$ となるので、 $p = \boxed{\text{タ}}$ 、 $q = \frac{\boxed{\text{チツ}}}{\boxed{\text{テ}}}r$ であることがわかる。 \vec{OP} と \vec{PL}

が垂直であることにより $r = \frac{\boxed{\text{ト}}}{\boxed{\text{ナニ}}}$ となり、 $|\vec{OP}|$ を求めると

$$|\vec{OP}| = \frac{\boxed{\text{ヌ}} \sqrt{\boxed{\text{ネノ}}}}{\boxed{\text{ハヒ}}}$$

である。 $|\vec{OP}|$ は三角形 LMN を底面とする三角錐 OLMN の高さであるから、三角錐 OLMN の体積は $\boxed{\text{フ}}$ である。

[13 センター試験]